

第一回 長岡京市西山公園(第3期) インクルーシブ公園に向けた ワークショップ 議事概要

開催概要

- 開催日時：令和4年6月4日（土）14:00-16:00
- 開催場所：長岡京市立中央図書館 大会議室
- 参加人数：20名
- 内容：1. 中小路市長からのご挨拶
2. 現地の紹介と計画の説明
3. 今日のワークショップについての説明／参加者のひとこと自己紹介
4. インクルーシブな遊び場って？ 情報インプット
5. グループワーク①「お互いのことを知ろう」
グループワーク②「こんな公園あったらいいな」
グループワーク③「私たちの考えるインクルーシブ公園」
6. 全体発表

1. 中小路市長からのご挨拶

「インクルーシブ公園の定義はまだ国土交通省も明確に打ち出していません。そんな中、西山公園を含む市内の公園で今後展開していくにあたり、長岡京市のインクルーシブ公園とは何なのかを今回のワークショップの話し合いを参考にしていきたい。」と話しました。

2. 現地の紹介と計画の説明

広場整備の方針について長岡京市公園緑地課が説明し、参加者に共有しました。

3. 今日のワークショップについての説明／参加者のひとこと自己紹介

参加者は4グループに分かれ、グループごとに1分間で各自自己紹介を行いました。

4. インクルーシブな遊び場って？ 情報インプット

公園の始まり、最近の公園とその課題、全国のインクルーシブ公園に関する情報が事務局から提供があり、参加者に共有しました。

最近の公園に求められること

都市の景観、環境を改善する
あらゆる人が快適に集う事が出来る
「癒し」「健康」「遊び」を誰もが体験できる
その時代が抱える課題を受け止める
全ての人々を危険から守ってくれる



その他たくさんの方の可能性を秘めた大切な場所

日本でのインクルーシブな遊び場

2020年から整備が行われる様になり、その整備は全国に広まっています



5. グループワーク①「お互いのことを知ろう」

遊び場での経験を共有するワークを行いました。遊び場での困り事や行きづらい理由、または助かったことや嬉しかった経験などを付箋に書き、模造紙に貼りながらグループ内で共有しました。

グループワーク②「こんな公園あったらいいな」

次に、あったらいいなを言語化するワークを行いました。ワーク①をふまえ、今度は公園にあったらいいものを付箋に書き出し、共有しました。

グループワーク③「私たちの考えるインクルーシブ公園」

ワーク①とワーク②で出た付箋をカテゴリー別に分類し、「私たちの考えるインクルーシブ公園」をスローガン・キャッチコピーとしてまとめました。

6. 全体発表

各グループからスローガンとワークで出た意見を発表しました。

Aグループ：「チャレンジ&セーフティ 人材活用」

安全でありながらもチャレンジできる遊具などの設備や衛生環境に関する意見が多く出ました。また高齢者がくつろげる花木あふれる歩道があったり、ボランティアとして携わることができたりと、様々な形で多世代が活躍できる場であってほしいとの声も発表しました。

Bグループ：「いつでも誰でも楽しめる公園」

階段やトイレといった設備についての意見や、夏場や雨の日にはどうしても利用できなくなることから、全天候型というアイデアがあげられました。また誰でも参加できるイベントの定期開催といった運営面のアイデアもたくさんありました。

Cグループ：「みんなが行ける公園」

公園までのアクセスについて多くの意見が寄せられました。障がいのある子どもと健常者の子どもと一緒に遊ぶことができる環境の大切さを感じる実体験も共有されました。そして車椅子でも過ごしやすいような設備に対して具体的な工夫があげられました。

Dグループ：「誰でも行きたくなる公園」

Free Wi-fiや地元野菜が楽しめるカフェ併設のアイデアがあがりました。トイレや遊具設備に加えて、遊びの提案ができる人がいたり、公園遊びに参加しやすい仕組みがあるといいのではないかという声もあげられました。

